

声 明

大阪夢洲IR・カジノ「実施協定」の締結に抗議する 「解除権」を規定した「実施協定」締結は認めない 大阪府民の力で夢洲カジノを止めよう

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>
〒536-0008 大阪市城東区関目6丁目4番2-103
担当:山川 電話:090-8536-3170

2023年9月28日、大阪府市は大阪IR株式会社と夢洲IR・カジノ事業についての契約に当たる「実施協定」を締結した。大阪府民に知らせることなく、十分な説明もなく、さらに住民合意をつくる努力を怠ったまま「実施協定」を締結したことに強い怒りと憤りを感じざるを得ない。

私たちはこれを認めることは出来ない。大阪府市と大阪IR株式会社に強く抗議するとともに、「実施協定」締結の撤回を求める。また政府、国土交通大臣には、「区域整備計画」の変更申請を十分な審議もなく認め、「実施協定案」を認可したことについて厳しく抗議するとともに、大阪IR株式会社にカジノ免許を交付しないことを求める。

この間、国と大阪府市は一体となって夢洲IR・カジノ事業の誘致計画を強硬に推進してきた。4月14日、「区域整備計画」の国による認定は、大阪府知事選挙、大阪市長選挙で夢洲IR・カジノを強力に推進する大阪維新の会勝利の直後、申し合わせたかのように行われた。審査委員会の報告書では、多くの問題点が指摘されていたにもかかわらず7条件を付して認定した。7月14日には、基本協定の解除期限を2カ月延長し9月末までと公表された。9月5日に開催された副首都推進本部会議では「実施協定案」が示され、続けざまに9月8日には「区域整備計画」の変更申請と「実施協定案」の認可申請が同時に行われ、その直後には国土交通省観光庁・審査委員会が「区域整備計画」変更について「見解の概要」を公表。変更には問題はないと結論し、9月22日に国は「実施協定案」が認可された。

国は、「区域整備計画」の変更と「実施協定案」を十分に審議し認可したというのか。

今回締結された「実施協定」には、夢洲IR・カジノ誘致計画の根幹に関わる重大な条項が定められている。大阪IR株式会社による「解除権」を規定した条項である。大阪府市から「解除権」についての大阪府民への説明は皆無といつてよい。この条項では、大阪IR株式会社の意向で「事業前提条件」が成就しない場合、2026年9月まで違約金なしでIR・カジノ事業から撤退できるとしている。7つの「事業前提条件」が成就されない場合、事業計画は解除される。このような「実施協定」締結を認めることは出来ない。

問題点は山積している。地盤沈下、関西万博と併せた工事の遅れ、資金調達、汚染土・土地改良、依存症対策、自治体・住民負担、格安賃料、住民合意など数知れない。「実施協定」は「解除権」を規定することで、これらの諸問題を先送りにする隠れ蓑に過ぎない。

「実施協定」の根幹を成す「解除権」規定は、大阪府市の住民にとって大きな不利益条項である。国と行政はこれに触れず、大阪府議会も向き合おうとしていない。国と地方行政、議会は劣化の一途をたどっている。夢洲IR・カジノ事業誘致を成長戦略の唯一の施策であると決めつけた維新府市政の政治的意図のもと、カジノ事業者やゼネコンなどグローバル企業の利益優先のため突き進み、留まることを知らない。

そのもとで大阪府市民は、多くの負担を押し付けられることになる。関西万博建設費用は膨れ上がり、大阪市の来年度予算は概算で300億円超の赤字見通しとなった。夢洲IR・カジノ増築による大阪市の追加負担は、これまでの土地改良費788億円に約257億円を上乗せするとしている。さらにIR・カジノ誘致のため、大阪市港営事業会計に莫大な借金を背負わせた。

現時点で、「事業前提条件」さえ整わぬ夢洲IR・カジノ事業計画は中止すべきである。吉村洋文大阪府知事は「実施協定」締結後に、「リスクは(事業者と)それぞれ分担しながら世界最高水準のIRを成功させていければ」と述べたが、私たち大阪府民は「リスクの分担」など認めていない。「民設民営であるIR・カジノに一切税金を使いません」との言葉はどこに行ったのか。

国と大阪府市政は、私たち大阪府民の存在と意志、運動の力を見誤っている。私たちは、いつでも辞めていく政治家ではない。私たちは、大阪に暮らす住民である。どちらが命と暮らし、大阪の未来に責任を持っているのかは明らかである。

10月8日(日)、大阪府民による『夢洲IR・カジノ公聴会』を開催する。国が「区域整備計画」認定時に付した7つの条件の1つである「地域との十分な双方向の対話の場」として『公聴会』を位置づけ、国と大阪府市に出席を要請している。大阪府内市町村議員など137人と、これに続く多くの大阪府民が『公聴会』への出席を求めている(別紙参照)。国と吉村洋文大阪府知事、横山英幸大阪市長が大阪府民の声を誠実に受け止め、出席することを願う。